

「地域の中の学校」

福井市国見中学校

1 取り組み概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議	7回
地域及び家庭への学校公開	7回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	72人
授業ボランティア	9人
登下校支援ボランティア	12人
その他 (校外での活動ボランティア)	12人

(3) 特色ある活動

テーマ

「地域に誇りを持つ子どもの育成」

【具体的活動内容】 「ふるさと教育」(地域と連携した特色ある活動)



【遠泳大会】

①地域の環境を生かした体験活動
遠泳大会・岩のり採り等の伝統行事を生かし、地域を愛する心を育てる。

②小中合同の学校行事
地区と小中合同の体育祭、津波対応の避難訓練、資源回収、羽水高校吹奏楽部演奏会、神楽の舞、小中がお互いの連音の曲を中学校の体育館で披露する。



【探究総合発表会】

③地域の学校支援ボランティアを活用した授業
1～3年国語(書写)
3年家庭科(魚の裁き方、料理)
1～3年保健体育(柔道の指導)

④国見生き生きプロジェクト
「国見ふれあい体験」
縦割り班に分かれて、国見地区の達人を講師に迎え、体験活動や探究活動を行い、学校祭や探究総合発表会で発表する。

⑤ふるさと探訪(公民館との連携)

2年生がマイクロバスで、地域の名所、歴史的箇所案内してもらい、公民館館長や主事、埋蔵文化センター職員から説明を受けた。



【神楽の舞】

【成果と課題】

①成果について

- ・小中連携で、いろいろな体験を共有することによって、子どもたちの良い人間関係を築くことができ、同じ地域の仲間としての連帯感が培われてきている。
- ・教育ウィークに土曜日を含めることや神楽の舞、吹奏楽コンサート、遠泳大会、親子奉仕作業などを休日に実施することにより、大勢の地域や保護者の方に参加してもらうことができた。
- ・探究総合では、地域の達人から優れた技術を学ぶことができ、生徒は新しいことに挑戦する喜びや発表した後の満足感を実感していた。来年度も習いたいという感想も多かった。

②課題および次年度に向けて

- ・地域に開かれた学校づくりを積極的に進めていくために、地域の情報把握に積極的に努め、HPや学校だより、学年通信、地区配布のリーフレット、公共施設のポスター掲示などで情報発信を積極的に行い、行事の日程や進め方を工夫していきたい。また、小学校の行事にも積極的に参加し、連携できるところを検討していきたい。

